

学び続ける教師であるために 専門職としての教師の学びに関する講演と 教職大学院修了生による研究発表

日時：2025年12月6日（土）14時～17時

会場：三重大学教育学部1号館 4階 大会議室

開催趣旨

「令和の日本型学校教育」では教職や教員研修の高度化が目指されている。このたび教職大学院の修了生が中心となって主体的・協働的に「学び続ける教師」を支援する第3回目研究会を企画・設定した。今回の全体テーマは「専門職としての教師の学び」である。教職大学院の修了生や在学生だけでなく、学校教員や教育委員会関係者をはじめとする教育関係者の皆様にとって専門的な知見を広げ深めるための機会としたい。

日時：2025年12月6日（土）14時～17時

会場：三重大学教育学部1号館 4階 大会議室

対象： 教職大学院の修了生・在学生、公立・県立学校の教員、附属学校園の教員、教育委員会関係者、教育関係者

参加申込： 下のサイトからお申し込み下さい。
参加費は無料です。

<https://forms.gle/X5E1AqF9emknTbJK8>

申込期限：11月28日（金）



プログラム

第一部 基調講演（14時～）

「あらためて『教えること』と『学ぶこと』を 問い直す」

講師：佐伯 胖 先生
東京大学・名誉教授

講演概要

本田由紀（『教育は何を評価してきたのか』岩波新書、2020年）によると、明治の学制制定以来、学校教育は「能力」による垂直的序列化と「態度」／「資質」の水平的画一化（「生きる力」／「期待される人間像」など）による強力な統制のもとに進められてきた。講演ではそこからの脱皮から、教えること／学ぶことの問い直しを提言する。

第二部 修了生の研究発表（16時～）

修了生による研究発表を行います。質疑応答では佐伯先生を交えてディスカッションを行います。